



岐阜県現代陶芸美術館では、下記のとおりコレクション展を開催いたします。
 このたびは2つのテーマ展示により、岐阜県現代陶芸美術館のコレクションを紹介します。
 貴媒体での取材や紹介のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆基本情報

やきもの いきもの

令和4(2022)年度新収蔵品

ギャラリーII A室

ギャラリーII B-D室

主催	岐阜県現代陶芸美術館
会場	岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーII
会期	2024年4月20日(土)～6月30日(日)
休館日	月曜日(ただし、4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
開館時間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
観覧料	一般340円(280円)、大学生220円(160円)、高校生以下無料 * ()内は20名以上の団体料金 * 以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証 * 特別展開催時は、特別展観覧券でも観覧できます
同時開催	ギャラリーI ●「うつわの大中小展—大きさから、やきものを解剖する」 2024年3月16日(土)～5月26日(日) ●「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに」 2024年6月8日(土)～8月25日(日)

* 会期中の催し、最新の情報につきましては、当館ホームページにてご確認ください。

<https://www.cpm-gifu.jp/museum>

広報用写真の利用について

本展覧会を紹介いただける場合に限り、裏面①、②の画像データ(1点300～500KB程度)をお送りします。
 希望される方は、次の必要事項を記載し、下記担当までメールまたはFAXにてお知らせください。

1.利用希望の写真の番号(①・②) / 2.貴社名(ご担当者名) / 3.ご住所 / 4.電話番号・FAX / 5.E-mail /
 6.掲載媒体名 / 7.題目 / 8.掲載予定日 / 9.その他(連絡事項などある場合)



岐阜県現代陶芸美術館
 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

【本展に関するするお問合せ・写真利用申込】

担当 花井・廣澤・野田(岐阜県現代陶芸美術館 学芸部)
 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
 TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101
 E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp

【ギャラリーII A室】

やきもの いきもの

やきものの造形は、柔らかい粘土を様々にかたちづくり、そのかたちを焼き留めることで出来上がります。

本展では、やきもので表されたさまざまな「いきもの」を、岐阜県現代陶芸美術館のコレクションから紹介いたします。実在するいきものもあれば、空想のいきものもあります。やきものの造形プロセスと、生のうごめきが響き合う造形をどうぞご覧ください。

【主な出品作家／窯 等】

天野裕夫、植葉香澄、鴨頭みどり、小出ナオキ、
重松あゆみ、杉浦康益、鈴木治、
アルベルト・ヨナタン・セティアワン、
エミール・ガレ、キム・シモンソン、
タカーチ・ゾルターン、フェデリコ・ボナルディ、
ペトラ・フレバチコヴァ、ロイヤルコペンハーゲン



① 植葉香澄《キメラ》
2009年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

【ギャラリーII B-D室】

令和4（2022）年度新収蔵品

岐阜県現代陶芸美術館では、令和4(2022)年度に22点の作品を収蔵しました。

日本の伝統に基づいて制作する作家たちの優れた器。また、現代造形に取り組む、日本の作家たちの新しい成果。さらに、西洋の名窯が生み出した、美しい花瓶とテーブルウェア。近現代の陶芸の多彩な世界を反映するこれらの新収蔵作品を、この展示ではジャンルごとに紹介します。

【主な出品作家／窯 等】

井上雅之、金子潤、林康夫、
榎本佳子、安永正臣、若尾利貞、
セーヴル、ロイヤル・ドルトン、
ウェッジウッド



② セーヴル《楽器を奏でる人物図花瓶》
1908年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

学芸員によるギャラリートーク

2024年4月28日（日）14:00～14:20 「令和4（2022）年度新収蔵品」

5月26日（日）14:00～14:20 「やきもの いきもの」

6月23日（日）14:00～14:40 「やきもの いきもの」「令和4（2022）年度新収蔵品」

* 聴講無料、要観覧券（高校生以下無料）、事前申込不要